

# 青木村子どもはつらつネットワーク通信

平成29年度 第150号 3月1日  
青木村子どもはつらつネットワーク事務局発行

青木村では、小学校4年生を対象に4年前からあおきっ子消防応援団が結成されています。その活動の様子をお伝えします。



## あおきっ子消防応援団

青木村役場総務企画課 小林 宏記

「あおきっ子消防応援団」は、小学校の協力をいただき今から4年前の平成26年に結成されました。

団員が年々減少していくなか、消防団を活性化させたいという思いと、子どもたちが消防団活動に参加、体験することを通じて理解を深め、将来的には加入してもらえるのではないかの思い、更に子どもたちの理解が保護者にも伝わり、消防団に対する協力体制の強化に繋がるのではないかと。そんな思いから始まったものです。

小学校に相談を持ちかけると、4年生の社会科の単元で消防署や消防団について学ぶことがあり、教科書を使った授業や消防署の見学が行われているので、青木村で実際に活動して



いる消防団と一緒に訓練や体験活動を行うことで、より身近なものになる、というご理解をいただき「あおきっ子消防応援団」は発足しました。

以来4年生が消防応援団として、法被を着て村の消防大会で声援を送ったり、出初式で行進したりとイベントに毎年参加してもらっています。また、小学校の授業には消防団が出向き、放水や土のう作り、水消火器などの体験をしてもらっています。



昨年の様子を振り返ると、張り詰めた空気漂う消防大会も、子どもたちの笑顔や声が広がると、それだけで明るくなり、緊張と緩和のバランスがとれていた気がしました。またお父さんが授業でわが子に教える姿からは、ちょっと恥ずかしがっているお父さんと、父を誇りに思う子どもの、温かい関係が垣間見えた時間でもありました。

子どもたちの中には、「お父さんは消防の服を着て出かけていくけれど、何をしているのかなぁ」なんて思っている子もいるかもしれません。消防団イベントへの参加や授業を通じて、消防団の活動を知り、少しでも消防防災の知識を得て自分の身を守ること、何ができるかを考えるきっかけになれば、それは大きな成果だと思います。

今、消防団では女性団員も活躍しており、昨年行われた長野県下の女性消防団員の意見発表会では、東信地区の代表として青木区の西戸公香さんが発表をしました。彼女は、消防団員である父の背中を見て育ち、大好きな青木村のために何か役に立ちたいという思いから入団し、これから様々な知識を身につけ地域に還元したいと思っているということでした。そんな気持ちを持った子どもたちが大勢育ってくれたらと思います。



近年の災害は大規模化し、地域が消防団に頼る場面は増えています。仕事や家庭という日常に加え、決して楽ではない消防団活動ですが、「自分たちの地域は自分たちで守る」という思いはとても尊く、家庭を守るように地域を守る消防団員の存在は偉大です。少し大げさかもしれませんが、地域を守ってくれる消防団員がいるから、安心な生活が当たり前のように送れているのかもしれない。

子どもと一緒に寝ていても、サイレンが鳴れば飛び起きて現場に向かわなければならないし、休みの日も一緒に遊べないこともあります。けれど法被や活動服を身にまとうお父さんの姿は、子どもたちにはとても格好よく映っていることでしょう。お父さん、お母さんは子どもたちにとって、最も身近なヒーロー・ヒロインで、憧れでもあるのですから。

終わりに、ぜひご家庭でも防火防災について考える機会を作ってください、家族の安全は



もちろんですが、少し視野を広げ、地域の安全についても考えてみていただけたらと思います。





# あおきっ子消防応援団の授業

青木村消防団団長 岩下 竜太郎

あおきっ子消防応援団への授業はランチルームでの座学と、校庭での実技となります。ランチルームでは青木村消防団の歴史や消防団と消防署の違いを学びます。自分たちが暮らす青木村の防災において消防団の重要性を伝えます。地区ごとに消防庫の位置や消火栓は見たことがあるかなどを問い掛けたりします。この時自分の父親が消防団員である子がお父さんを誇りに思ってもらえるように心がけています。



消防団はその時代に合わせて名称を変えて繋がっています。青木村では明治の頃、村松地区に自主消防組織として消防組ができたのを皮切りに、各地区に自主消防組織が結成され、



やがてそれが村全体で連携をとるようになります。今の消防団の形になるのは戦後のことです。組織の在り方を時代に合わせて変えながら続いてきた消防団ですが、その根底に流れるのは郷土愛護の精神であり、いざという時に家族を守りたいという思いです。子どもたちに大好きな青木村で安心して暮らせるように頑張

っている消防団を知ってもらいたいと思っています。

さてそうは言ってもあまり熱意だけ押し付けても彼らもくたびれてしまいます。そこで今度は校庭に移動です。体を動かしながら我々が普段どんな備えをしているのかを学びます。

ここでは2班に分かれて、ポンプ車を使った放水体験と土のう作りを行います。放水体験はポンプ車にいかにかが力がありそれを扱うには訓練が必要なことが解ります。土のうもこんなに重いのかと気づきます。でも今は楽しんでくれれば大丈夫。いつか一緒に村を守りましょう。



私たちにとっても消防団を身近に感じてもらおう貴重な時間です。これからも楽しみながらともに学べればと思います。

## はつらつ先生 IN あおき

今回は、青木村保育園年少すみれ組担任 **松澤 小百合** 先生です。

- 好きな食べ物…ハンバーグ。茶わん蒸し（母が作ってくれるものが大好き）。ビターチョコレート。お酒も好きでおつまみの砂肝が大好きです。麺類も好きで飲んだ後の味のラーメンは最高です。



- 苦手な食べ物…甘い物。和菓子やケーキなどの甘い菓子類は苦手です。長ネギ。蕎麦はアレルギーがあるので食べられません。

- 趣味…DVD鑑賞。新作の映画をよく観ています。ホラーは観ません。小1から習っているピアノが好きでピアノを弾いて発散しています。

- どんな子どもでしたか？…活発でよくしゃべる子どもでした。小学校の担任の先生に「沓掛のカエルが鳴いている」とよく言われました。友だちと一輪車に乗って遊んだりもしました。中学の時は吹奏楽でフルートを吹いていました。高校の時は軽音でバンドを組んでいて、県で一位になりました。キーボード担当でした。



- 先生にならなかつたら？…保育園の時から保育士になりたかったです。ピアノの先生にもあこがれていました。

- 好きな有名人は？…竹野内豊。反町隆史。落ち着いた男の人が好きです。宮崎あおいや森三中も好きです。

- お休みの日は何をしていますか？…ショッピング。旦那さんと休みが合えば軽井沢や佐久までショッピングに出かけ、美味しい物を食べて帰ります。焼肉を食べに県外に行くこともあります。群馬の肉男（ミートマン）がお勧めです。掃除が大好きで一日中でもやっています。



## 編集後記

あおきっ子消防応援団（4年生）は今年度は7月18日に青木村消防団の方から授業を受け、1月7日の消防出初式に行進を行いました。

青木村の安全を願って活動をされている消防団の方々からお話しをお聞きし、子どもたちの中にも青木村を思う気持ちが育ってくれるといいですね。

